

「日々の理科」(第3609号) 2024, -6, 24

「石垣島離島紀行(29)」※2ページ

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

【4日目/5月25日(つづき)】

石垣島旅行では、もし運転免許を持っている方なら、レンタカーをお勧めします。事実、空港の周辺にはたくさんのレンタカー屋さんがあって、すさまじい数の車が待機しています。



この日も車で海岸線に沿って走りましたが、絵になりそうな風景にたくさん出会いました。手前に牧草地、遠くに海・・・という風景もあります。ノルウェーの海岸近くの牧草地を思い出しました。



時には砂浜まで車が入れる場所もあります。こういう場所では、車の中で少しのんびりしていました。



干潮時には「干潟」が出現します。干潟に下りれば、たぶん珍しい生き物に出会えると思うのですが、今回はやめておきました。「次回の楽しみ」を残しておくのも大切なことでしょう。



最後に向かったのは石垣島南部の内陸にある「バナナ公園」です。「公園」といっても児童公園のようなものではなく、山全体の自然や景観を楽しむ広大な公園です。もちろんハイキング道もあるのですが、幸い一番行きたかった展望台まで自動車道がついているようです。



え？これが展望台?? 「チキチキマシン猛レース」の「岩石オープン」が住んでいそうです。上って見ましたが、大した展望ではありませんでした。



頂上には電波塔があります。しかし、霧がかかっていました。幸い雨は降っておらず、何よりもとても涼

しいので助かりました。



バナナ公園にはいくつかの展望台がありますが、この名称が一番惹かれました。まあ、ここまでの3日間で「エメラルド色の海」は飽きるほど見ましたが、やはり「行かねば!」と思ったのです。



この日は少し霞んでいて、海の色はあまり良くありませんでしたが、石垣市の市街地は非常によく見えました。自分の泊ったホテルも見えました。



どちらかというと、「石垣市展望台」という感じです。たぶん夜景も美しいでしょう。もう1泊あれば夜景を見られたのにと残念でした。ここから見る海の方位は「南」なので、晴れていれば「南十字星」も観望可能でしょう。ただ、海の手前に市街地があるので、写真を撮るのにはかなり不利なロケーションです。それでも、次回は試してみたいと思いました。



遠くには竹富島も見えました。こんなに高い場所から見ても、やはり平べったい島で、ほとんど起伏は感じられませんでした。



この日に通ってきた海岸も見えました。確かに海は「エメラルド色」をしています。



バナナ公園の「観光」を終えて、すぐ近くにある「石垣島天文台」に向かいました。道が非常に狭いので、長大な「一方通行」の道を上っていきます。道の入口には案内板もあって、施設の見学もできるということがわかりました。

バナナ公園の「観光」を終えて、すぐ近くにある「石垣島天文台」に向かいました。道が非常に狭いので、長大な「一方通行」の道を上っていきます。道の入口には案内板もあって、施設の見学もできるということがわかりました。